

## 観点別学習状況の評価（A～C）の事例とその評価基準

### 1 本校生徒の様子

本校生徒は中学校時から理数科目に対して苦手意識をもつ生徒が多いが、授業に対しては意欲的に取り組む生徒が多く、明るく活発な生徒も多いため、授業での発問に対しても懸命に答えを出そうとする姿やクラスメイトと知恵を絞りながら答えようとする姿が見られる。商業科目の授業でグループワークや発表を行う機会も多いことから、そうした授業形式に対しては抵抗感も少ない。

### 2 授業内容

今回実践した学習内容は生物基礎の中で転写・翻訳を経てタンパク質が合成されていく過程である。「mission～指定されたタンパク質を合成せよ！～」というタイトルで、グループ内でmRNAをつくる役、tRNA役、リボソーム役の三役に分かれ、用意された塩基配列を基に会話することなくそれぞれの役割をこなし、指定されたアミノ酸を正しく並べていくものである。

### 3 本時のねらい

タンパク質合成の過程はアニメーション等を用いて授業を行うことで視覚的理解を促しているが、「理解したつもり」でも、tRNAやmRNA、コドンとアンチコドンなどの違いがあやふやであったり、提示する図や表現が変わると分からなくなってしまうことが多い。本校生徒の様子の中でも述べたように、本校生徒はグループ活動を通して学ぶことに対して抵抗感が少なく、むしろグループになった方が積極的に活動する生徒も多い。そこで、タンパク質合成の過程を役割に分かれて再現することで、自分の役割を担いながらグループ内の他の生徒の活動を見て学ぶことができるようにするとともに、自らの理解度を振り返る機会とした。その振り返りから現状の学習方法の課題や今後の改善点について表現させる。こうした活動は、新しい観点別評価の「主体的に学習に取り組む態度」を測る上で必要な二つの側面を知るためのよいのではないかと考えた。

### 4 評価基準 【主体的に学習に取り組む態度】の評価

- A タンパク質合成に関わる過程を再現しようと主体的に取り組み、活動や学習状況を振り返ろうとしている。
- B タンパク質合成に関わる過程を再現しようと主体的に取り組む、あるいは、活動や学習状況を振り返ろうとしている。
- C タンパク質合成に関わる過程を再現しようと主体的に取り組めず、活動や学習状況を振り返ろうとしなかった。

※Cの場合は、個別に声をかけ、学習の理解について振り返らせる。

### 5 評価のポイント

以下の内容を授業のワークシートに記載した。

①この単元の理解度を振り返り、自分の学習方法について感じた課題、また、②それをどのように改善していくかを考えて書きましょう。

この二つの問いに対する生徒の回答・記述を評価基準に照らし合わせ、本時への主体的な取り組みができたか、また、本時のグループワークを通して活動や学習の振り返りができているかを分析し、評価する。

本時のねらいでも記述したように、本時の活動に対して主体的に取り組むことよって、自分の役割を担いながらグループ内の他の生徒の活動を見て学ぶことができ、自らの理解度についても振り返ることができる。したがって、この①の記述を通して、「粘り強く学習に取り組もうとする姿勢」が見て取れると考えた。また、②の記述からは、①の振り返りをもとに現状の学習方法の課題や今後の改善点について表現する「自らの学習を調節しようとする姿勢」が見て取れると考えた。

## 6 評価事例

### (1) ①, ②の評価について

①については、自らの課題について、学習した用語などを用いて記述されているか、②については具体的な方策が書かれているかを分析し、評価を行った。

以下に3名の生徒の記述を示す。

生徒Ⅰは、②の欄において具体的な課題を挙げており、活動や学習状況の振り返りができていると見取れるので、おおむね満足できる状況（B）と判断できる。

生徒Ⅱは、①の欄において授業で理解しきれていないことを具体的に挙げ、②の欄においてどのように対応したらよいか記述しており、主体的に取り組む、かつ、活動や学習状況の振り返りができていると見取れるので、十分満足できる状況（A）と判断できる。

生徒Ⅲについては、①、②の欄とも抽象的な表現にとどまっているため、努力を要する状況（C）と判断できる。

	生徒Ⅰ	生徒Ⅱ	生徒Ⅲ
①感じた課題	理解できていたと思ったが、だめだめだった。もう少しがんばるべきだと思った	<u>DNAとRNAの塩基はAとUで違うことは分かったけれど、転写と翻訳の仕組みを理解できていない。</u>	この単元は暗記するだけでは頭に入らないから考えながら勉強しなくてはいけないと思った。
②どのように改善したらよいか	<u>AUGCとATGCをうまく切りかえられるように</u> がんばりたい。	<u>プリントの図をもう一度確認して</u> 仕組みを分かるようにする。	基礎をしっかりと理解し、頭でタンパク質合成の流れをイメージしながら勉強しようと思う。
評価	B	A	C

### (2) 評価を行う際の課題

担当する教員によって評価が異ならないようにするためには、「『具体的に』書けているか」という「具体的」の基準についてすり合わせが必要となる。生徒Ⅲのように文章は書けるが評価できない生徒に対しては、他の生徒の文章を授業内で共有することで、生徒がどのように書けばよいのかを考えることができると感じた。また、学校や生徒の状況に応じて、この評価基準を「〇文以上書けていたら」などと変えることも考えられる。